（候補者が作成し推薦機関に提出）

様式　２

（事業所・地方公共団体等用）

**候補者の概要書（事業所・地方公共団体等用）**

1. 候補者の名称、連絡先等

|  |  |
| --- | --- |
| ①候補者名＊1（事業所・地方公共団体等の名称）＊1　表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく30字以内にしてください。 | ﾌﾘｶﾞﾅ（半角ｶﾅ）： |
|  |
| ②取組の実践場所（都道府県及び市区町村まで記入） |  |
| ③代表者役職・氏名 |  |
| ④連絡先（連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください。） | 住所 | （〒　　-　　　） |
| 所属企業・機関名 |  |
| 部署・役職 |  |
| 氏名 |  |
| 電話番号 |  |
| ＦＡＸ番号 |  |
| Ｅメール |  |

連名による応募の場合、もう1者の名称・連絡先等を記入してください。3者以上の連名の場合は、記入欄を適宜追加して、記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| ①候補者名＊1（事業所・地方公共団体等の名称）＊1　表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく30字以内にしてください。 | ﾌﾘｶﾞﾅ（半角ｶﾅ）： |
|  |
| ②取組の実践場所（都道府県及び市区町村まで記入） |  |
| ③代表者役職・氏名 |  |
| ④連絡先（連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください。） | 住所 | （〒　　-　　　） |
| 所属企業・機関名 |  |
| 部署・役職 |  |
| 氏名 |  |
| 電話番号 |  |
| ＦＡＸ番号 |  |
| Ｅメール |  |

19

2. 3R活動の実施内容（推薦対象の3R活動の内容について記入してください。）

※欄内の説明文（コメント）、記入例は削除し、ご記入ください。

|  |
| --- |
| ① 活動テーマ名 |
| 推薦対象の3R活動の内容を端的に表すテーマ名を40字以内で付けてください。 |
| ② 活動概要（表彰結果発表冊子に使用します。非公開の情報は「③活動の詳細内容」にご記入ください。） |

|  |
| --- |
| 活動内容を、写真、図表なども含めて、当枠内に記入してください（MS明朝、9ポイント）。※ 枠を拡げたり、次ページに繰り越したりしないようにお願いします。次のような項目について内容を記述ください（一例なので、このとおりでなくても問題ありません）。（１）どのような3R活動か（２）取組のポイント、特長（３）他の取組に比較して優れているところ、独自なところ、工夫したところ（４）今後の予定など注釈1.写真、図表等を活用して、取組の特長などが伝わるようにご記入ください。2.当欄の記入内容は、受賞取組をまとめた表彰結果発表冊子に使用いたします。非公開の情報など一般公開できない内容がある場合には、当欄ではなく次ページ「3. 活動の詳細内容（審査用）」にご記入ください。3.過去の内閣総理大臣賞受賞者の活動概要（表彰結果発表冊子）を29ページに添付していますので、ご参照ください。また、それ以外の受賞者の活動概要もリデュース・リユース・リサイクル推進協議会ホームページからダウンロードできますので、ご記入の際の参考にしてください。（https://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/jisseki/） |

※枠はこのまま使用して、拡げたり、次ページに繰り越したりしないようにお願いします。

20

以下の各項目は、全項目が審査対象（未記入の場合は、当該欄の評価点がゼロ）となりますので、必ず全項目(③～⑪)ご記入ください（6ページ「審査基準」ご参照）。

（③以降の記入欄の大きさが足りない場合は、枠を適宜拡げてご記入ください。）

|  |
| --- |
| ③ 活動の詳細内容（審査用。非公開） |
| 3R活動の具体的な実施内容について、写真・図表等を用いてご記入ください。また、実施内容が優れている点を、期間、量、件数など客観的な数値を用いてご記入ください。ご記入内容は次のような内容です。（１）どのような3R活動であるかの詳細（２）取組のポイント、特長の詳細（３）他の取組に比較して優れているところ、独自なところ、工夫したところの詳細（４）今後の予定の詳細など |

21

|  |
| --- |
| ④ 活動開始時期・継続年数 |
| 3R活動を開始した年月及び継続年数を記入してください。 |
| ⑤ 対象品目・量等の実績 |
| 3R活動の対象品目、および過去3年間にリデュース、リユースまたはリサイクルした量の実績を記入してください（重量、体積、数量の単位は適宜変えてください）。なお、リサイクルの場合は、再生品の名称や用途（例：再生プラスチック、バイオマス、再生紙、ガス化燃料、セメント原料、高炉還元材利用等）を記入してください。＜リデュース＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度品目 | 年度 | 年度 | 年度 |
|  | ｔ㎥ | ｔ㎥ | ｔ㎥ |
|  | ｔ㎥ | ｔ㎥ | ｔ㎥ |
| （説明・ポイント・補足など記入してください。） |

　＜リユース＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度品目 | 年度 | 年度 | 年度 |
|  | ｔ㎥ | ｔ㎥ | ｔ㎥ |
|  | ｔ㎥ | ｔ㎥ | ｔ㎥ |
| （説明・ポイント・補足など記入してください。） |

＜リサイクル＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度品目 | 年度 | 年度 | 年度 |
|  | ｔ㎥ | ｔ㎥ | ｔ㎥ |
|  | ｔ㎥ | ｔ㎥ | ｔ㎥ |
| （説明・ポイント・補足など記入してください。） |

 |

22

|  |
| --- |
| ⑥ 活動による効果 |
| 3R活動の実施により得られた効果をできるだけ具体的に記入してください。「⑤ 対象品目・量等の実績」の付帯効果、波及効果、書ききれない効果、また「⑤ 対象品目・量等の実績」に記入したもの以外の内容があれば、記入してください。【廃棄物の削減効果】【省資源・省エネルギー効果】【環境保全効果】【その他の効果】 |
| ⑦ 活動地域の範囲、他の3R活動主体や他地域との連携協力、地域密着性 |
| 3R活動の実施地域の範囲を記入してください。 |
| 他の3R活動主体や他地域との連携・協力について具体的に記入してください。 |
| 地域の特性や廃棄物問題を踏まえた3R活動である場合には、その内容を具体的に記入してください。 |
| ⑧ 独創性・先鞭性 |
| 他の取組に比較して優れているところ、進んでいるところ、独自なところを記入してください。23 |

|  |
| --- |
| ⑨ 啓発普及・教育活動の実施、波及効果 |
| 3Rに関する啓発・教育活動の実施内容と成果を具体的に記入してください。 |
| 他の事業所等の3R活動に与えた波及効果を具体的に記入してください。 |
| ⑩ その他活動の工夫点 |
| 上記以外に特に工夫・努力している点、アピールしたい点等を記入してください。 |
| ⑪他の企業等の協力 |
| 他の企業等（納入業者・下請け企業・廃棄物処理業者・リサイクル業者等）の協力を得て3R活動を行っている場合、以下を記入してください。（a）協力を得ている内容を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 協力企業の業種 | 協力を得ている事項 |
| （記入例）建材メーカー | （記入例）当工場で発生する廃棄パレットを原料にパーティクルボードを生産している。 |
| （記入例）資材納入業者 | （記入例）資材の空き容器を引き取ってもらっている。 |

（b）協力企業における自社発生物のリサイクル状況の把握及び協力企業に対する支援等を行っている場合は、その内容を記入してください。（記入例）・年１回、委託先の現地調査を行い、引き渡した廃棄物が確実に再生利用されたことを確認・廃液のリサイクルを委託するにあたって、共同で再生技術の研究開発を行った。 |

3. 過去の受賞歴及び他の表彰制度への応募状況

24

　今回推薦される内容が、下記(A)～(D)に該当する場合、以下の表にご記入ください。

　(A) 過去に、本表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で受賞

　(B) 過去に、本表彰制度で今回推薦される内容とは違うテーマの活動で受賞

　(C) 過去5年間に、他の表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で受賞

　(D) 本年度、他の表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で推薦されている又は応募中（予定も含む）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 受賞歴及び応募状況（上記(A)～(D)を記入） | 表彰制度名（上記(C）、(D)の場合、記入） | 受賞年度（上記(A)～(C)の場合、記入） | 受賞した賞の種類（上記(A)～(C)の場合、記入） | 受賞時の会社名・事業所名が現在と異なる場合、当時の名称（上記(A)～(C)で該当する場合、記入） |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

上記で（A）、(C)に○を付けた方は、前回受賞時から進展したポイント（例：活動内容の広がり、活動レベルの向上、3R実績量の増加、活動地域の拡大等）について、下記の例を参考に具体的にご記入ください。

記入例は削除して、ご記入ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 過去（　　年度）受賞時の活動内容 | 今回推薦を受ける活動内容 |
| 3R活動の内容（拡大発展したポイントが分かるように対比） | （記入例）工場で発生する各種廃棄物・副産物を極力工場内でリサイクルするとともに、自社内で利用できないものは、リサイクル業者の協力により各種リサイクル製品の原料として有効利用を図った。これにより、最終処分量を5年前の1／5（発生量の20％）に削減した。 | （記入例）左記の取組に加え、工場内の各工程において製法・工法の改良、歩留り改善、容器・梱包等のリターナブル化等の手段によって、廃棄物・副産物の発生そのものを大幅に削減した。これにより、最終処分量ゼロを達成した。 |
| 3R対象品目及び実施方法について | （記入例）・塗料かす：樹脂成型品の増量材として再資源化・洗浄用有機溶剤：蒸留して低品位溶剤に再生・プラスチック端材：溶融ペレット化して売却・段ボール箱：古紙回収業者に引き渡しリサイクル・廃木製パレット：破砕・チップ化して建材ボード原料としてリサイクル | （記入例）・塗料かす：静電塗装の採用で発生量を90％削減・洗浄用有機溶剤：純水洗浄に切替え全廃・プラスチック端材：工程内で100％循環利用・段ボール箱：通い箱に切替え発生量を95％削減・廃木製パレット：長寿命型のプラ製パレットの採用で発生量を60％削減。破損パレットは補修して再使用 |
| 活動の実施地域について | （記入例）当社○○工場、××工場の2事業所で実施 | （記入例）左記に加え、当社□□工場、△△工場及びグループ企業の2工場に技術移転を行い、現在全国6事業所で実施している。 |
| 活動の質的な向上について |  | （記入例）前回受賞時の取組内容はリサイクルに限定されていたが、現在は各工程で3R全般にわたる取組を組み合わせ、高い効果をあげることができた。 |
| 上記以外の進展事項、アピールしたいポイント | （記入例）製法・工法の改良による副産物の発生削減技術は特許を取得した。この特許技術は同業他社や他業種の工場にも採用され、各種産業におけるリデュースの推進に寄与している。 |

25

＜参考１＞

表彰の募集対象となるリデュース・リユース・リサイクル（3R）の取組の例

26

|  |
| --- |
| **＜対象となる取組＞*** 自らが3Rを実践する活動であり他の模範となる取組
* 3Rを推進するための他者・地域との連携、他者への3Rの啓発・教育活動など他の模範となる取組
* 3Rを推進するための仕組みづくり、3Rを促進する製品の開発・普及などの活動

※ リデュース、リユース、リサイクルのいずれか１つの取組も対象です。また、これらの２つの組み合わせ、３つ全ての取組も対象です。※ なお、他に比較して優れたところ、進んだところ、独自なところがあれば既に比較的普及している3Rの取組であっても対象となります。具体的な取組事例は次のとおりです。１．リデュース（Reduce＝発生抑制）製品をつくる時に使う資源の量を少なくすることや廃棄物の発生を少なくすること。耐久性の高い製品の提供や製品寿命延長のためのメンテナンス体制の工夫なども含まれます。（取組の例）＜個人・グループ・学校＞○マイバックを持って無駄な包装は断る。○詰め替え容器に入った製品や簡易包装の製品を選ぶ。○耐久消費材は手入れや修理をしながら長く大切に使う。○利用頻度の少ないものは、レンタルやシェアリングシステムを利用する。○耐久性の高い製品や省資源化設計の製品を選ぶ。＜事業所・地方公共団体等＞○製品を設計する時に、製品ができるだけ長く使えるように工夫をする（耐久性、修理性等）。○製品を設計する時に、製品ができるだけ少ない材料、部品等で構成されるように工夫する（省資源化）。○製品をつくる時に、原材料を無駄なく効率的に使うように工夫する。○修理や点検等のアフターサービスを充実することにより、製品の長期使用促進に努める。○簡易梱包、簡易包装、詰め替え容器、通い箱等の利用、普及に努める。○機械器具等の手入れ方法や修理方法を工夫して長期使用に努める。○利用頻度の少ないものをシェアする仕組み、不用品を有効に活用する仕組みをつくる。○耐久性の高い製品や省資源化設計の製品を選ぶ。２．リユース（Reuse＝再使用）使用済製品やその部品等を繰り返し使用すること。その実現を可能とする製品の提供、修理・診断技術の開発、リマニュファクチャリングなども含まれます。（取組の例）＜個人・グループ・学校＞○リターナブル容器に入った製品を選び、使い終わった時にはリユース回収に出す。○フリーマーケットやガレージセール等を開催し、不用品の再使用に努める。＜事業所・地方公共団体等＞○製品を設計する時に、本体や部品のリユースがしやすいように工夫をする。○使用済製品を回収して本体や部品を再生し、再び新品同様の製品を作り出す。○使用済製品、部品、容器を回収し、再使用する。３．リサイクル（Recycle＝再資源化）廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用すること。その実現を可能とする製品設計、使用済製品の回収、リサイクル技術・装置の開発なども含まれます。（取組の例）＜個人・グループ・学校＞○資源ごみの分別回収に協力する。○資源ごみの効率的な分別回収を広める。○リサイクル製品を積極的に利用する。＜事業所・地方公共団体等＞○製品を設計する時に、使用後のリサイクルがしやすいように工夫をする。○製品をつくる時に、できるだけリサイクル原材料を使う。○使用済みとなった自社製品の回収・リサイクルに努める。○発生した副産物・使用済製品を効率的にリサイクルする（仕組みづくりを含む）。**注釈**町の美化、公衆衛生の向上、公害防止（大気、水質等）、地球温暖化防止などは、資源の有効利用を目的とした３Ｒ活動の付随的な効果としては評価の対象ですが、これらが主たる取組の場合は本表彰の対象外です。27 |

限りある地球の資源を大切に！

◆リデュース・リユース・リサイクル推進協議会は

消費者・教育機関・産業界・行政など多くの主体が連携しつつ日本全国で3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再資源化）を推し進めてゆくことを目的とし、国民的運動を展開することを使命としています。本協議会は、リサイクル推進協議会として発足いたしましたが、3R推進の重要性を認識し、より一層循環型社会形成に資するために現在の協議会に進化させました。

日本は循環型社会構築という面では世界を一歩リードするところまで来ていますが、それでも十分とは言えず、まだまだやるべきことが多く残されています。今後日本で更に優れた資源循環を推し進めてゆくために、本協議会は、3Rの普及・啓発などの活動を積極的に行ってまいります。

協議会のホームページ：　https://www.3r-suishinkyogikai.jp/